



学校評価だより

令和7年度 後期号
令和8年3月9日
京都市立正親小学校
校長 長谷川 英司

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました

1月に、児童・保護者・教職員を対象に後期の学校評価アンケートを実施しました。多数ご協力いただきましたことに感謝申し上げます。今回も、それぞれの質問項目に対して「そう思う」「だいたいそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の4段階で評価していただきました。数値は割合(%)を表しています。その結果、本校の教育活動の中で、成果として大切にしたいこと、課題として改善していくことを明らかにし、今後の教育活動に生かしていきたいと思ひます。



成果として大切にしたいこと

○子どもたちは「学校が楽しい」「友達に優しくしている」「学校の決まりを守っている」「たてわり活動が楽しい」(徳①③④⑤)の項目で特に評価が高く、子どもたちの人間関係や思いやりの心が育っていると感じています。

○友達との関わりや安全意識(徳③)についても高い評価が得られました。保護者の自由記述にも「小さな悩みも聞いてもらえて安心」「見守り活動への感謝」についてのご意見がありました。3月の「見守りたい感謝の会」には、見守りたいの皆様に来校していただき、全校児童で「正親の歌」を歌い、6年生が児童代表として感謝の気持ちを伝えました。

○学校からの情報発信(学⑤)や学校行事への保護者の参加(学⑥)については、本校教育活動への理解を

いただけていると思ひます。また、「児童の良さや可能性を伸ばすような取組を進めている」(学④)からは、学校への信頼を得られていると感じています。

評価項目		そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
徳①	学校が楽しい	児 58	35	6	1
	子どもは、毎日楽しく学校へ通っている。	保 46	47	6	1
		教 25	75	0	0
徳②	自分からあいさつをしている	児 52	39	8	1
	子どもは、自分からあいさつをしている。	保 30	57	12	1
		教 19	50	31	0
徳③	友だちにやさしくしている。	児 53	41	6	0
	子どもは、友達に優しくしている。	保 45	54	1	0
		教 44	56	0	0
徳④	たてわり活動が楽しい。	児 59	35	5	1
	子どもは、たてわり活動を楽しんでいる。	保 48	44	8	0
		教 38	62	0	0
徳⑤	「学校の決まり」を守っている。	児 44	53	3	0
	子どもは、「学校のきまり」を守っている。	保 43	54	2	1
		教 31	69	0	0
徳⑥ (新)	使ったものは、元の場所に片づけている。	児 56	38	5	1
	子どもは、後始末の習慣ができています。	保 19	45	33	3
		教 6	81	13	0
知①	勉強が楽しい。	児 40	41	17	2
	子どもは、楽しく勉強している。	保 22	57	19	2
		教 19	81	0	0
知②	すすんで学校での学習に取り組んでいる。	児 42	45	12	1
	子どもは、進んで学校での学習に取り組んでいる。	保 27	47	23	3
		教 19	81	0	0
知③	授業中考えたことを発表している。	児 31	41	25	3
	子どもは、自分の考えたことを伝えている。	保 22	55	22	1
		教 6	69	25	0
知④	先生や友達の話をしっかり聞いている。	児 52	44	4	0
	子どもは、人の話を聞いている。	保 25	58	16	1
		教 13	87	0	0
知⑤	すすんで読書をしている。	児 36	34	19	11
	子どもは、進んで読書をしている。	保 24	27	40	9
		教 13	75	12	0
知⑥	家で学習をきちんとしている。	児 42	43	12	3
	子どもは、家庭での学習をしている。	保 29	41	27	3
		教 13	81	6	0

○「進んで読書をしている」「家での学習をきちんとしている」(知⑤⑥)は、特に保護者の評価が低く、前期も同様の結果でした。いずれも教職員の評価は比較的高いので、学校だけではなく家庭への支援が必要であると考えました。学校が家庭での支援策を示していくことで、学校と家庭が役割分担し、子どもたちが自主的に家庭学習に取り組めるようにしていきます。具体的には、来年度はこれまでの「宿題」のあり方を見直し、子どもたちが家庭学習で何をすべきかを考えるようにしていきます。年度の初めにはどのような形で家庭学習を進めるのかをお示しする予定です。学習内容を自分で考えたり課題を選んだりすることで、児童も保護者の皆様も、初めは戸惑いを感じられると思いますが、段階的に進めていきますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

○二条中学校ブロックの三校合同項目の①②については、否定的な回答は教職員よりも児童・保護者の方が多く、認識のズレがあります。学校の取組がまだ足りないと分析しました。また「授業中考えたことを発表している」(知③)、「話したいことを先生に話している」(学①)は児童の否定的な回答が最も多い項目です。自分の考えが発表できる学級経営や困ったことは先生に話せる関係づくりをすすめ、教職員が子どもたち一人一人に寄り添い、向き合う時間を確保していきます。

	評価項目		そう思う	だいた いそう 思う	あまり そう思 わない	そう思 わない
体①	きそく正しい生活(早寝・早起き・朝ごはん)をしている。	児	39	39	17	5
	子どもは、規則正しい生活を送っている。	保	33	54	10	3
		教	6	75	19	0
体②	すすんで体を動かしたり、運動をしたりしている。	児	54	34	11	1
	子どもは、進んで体を動かしたり、運動をしたりしている。	保	53	30	16	1
		教	19	69	12	0
体③ (新)	安全に気を付けて生活をしている。	児	68	29	3	0
	子どもは安全に気を付けて生活している。	保	45	54	1	0
		教	31	69	0	0
学①	話したいことを先生に話している。	児	32	44	21	4
	一人一人の児童と対話している。	教	44	56	0	0
学②	学校の出来事などを家の人に話している。	児	55	32	10	3
	学校の出来事などについて親子で対話している。	保	45	46	9	0
学③	地域の行事に参加している。	児	39	25	22	14
	PTA や地域の行事に参加している。	保	21	41	27	11
	学校は、PTA や地域の行事への参加を呼びかけている。	教	31	56	13	0
学④	学校は、児童の良さや可能性を伸ばすよう取組を進めている。	保	28	63	8	1
		教	50	50	0	0
学⑤	学校は、学校・学級だよりやホームページなどで、取組の様子を配信している。	保	53	45	2	0
		教	38	62	0	0
学⑥	保護者は、授業参観や学校行事などに参加している。	保	49	48	4	0
		教	50	50	0	0
三校 合同 ①	自分にはよいところがあると思う。	児	50	32	13	5
	子どもが自分にはよいところがあると思うことができるよう働きかけている。	保	35	58	7	0
		教	56	38	6	0
三校 合同 ②	難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している。	児	44	39	16	1
	子どもが難しいことでも失敗をおそれないで挑戦することができるよう働きかけている。	保	22	66	12	0
		教	56	44	0	0
三校 合同 ③	自分の夢や目標を持って過ごしている。	児	55	31	9	5
	子どもが自分の夢や目標を持って過ごすことができるよう働きかけている。	保	28	61	11	0
		教	50	44	6	0

○保護者アンケートの自由記述には、学校行事に対するご意見をいくつかいただいています。例えば、「学習発表会で合唱・合奏が見たかった」「縄跳び・マラソン大会がなくなって残念」といった内容です。いずれも教育活動としては行っておりますが、保護者参観ができる時間をつくったり、ホームページ等での情報を地域・保護者の皆様へ確実に届ける仕組みを考えたりしていきます。



今回のアンケートを通して、皆様の声から多くの気づきがありました。今後も児童一人ひとりの成長を支える学校づくりを進めてまいります。3月11日には、学校運営協議会理事会を開催し、この結果をもとに理事の皆様よりご意見をいただく予定です。引き続き、温かいご支援をよろしくお願いいたします。